

貢ぎマゾ強制募金Ⅱ

～Dominated Devotion～二章は初披露だと思います…。

目次

コンセプト

登場人物

1章

凡例

scene1

scene2

2章

scene1

scene2

改ページ

コンセプト「Sein」

登場人物

光ちゃん

二人のうち作戦指揮系統およびお財布くんの選定を担うブレイン役。

彼女がブレインなのは単に頭がよく状況判断に優れているというのもあるが、それよりも彼女の人間性がこの貢ぎ募金というプレイに適合しているためです。

一つどうでもいい設定として中高一貫の高からの編入組。しっかり勉強して入ってきてるところが光ちゃんらしいと作者は思います。

萌ちゃん

二人のうちの実働部隊（おねだり）担当。

そのおっぱいと声とおっとり清楚な見た目で愛想を全方位に振りまくことで、男のツボを的確に突き、男をダメダメのよわよわの骨抜きの鰯折りにして圧力鍋で味噌煮にして美味しく食べちゃう天然の人たらし。

掴みどころがなくどこまで計算でどこまで天然かが分からない。というより天然で計算します。

自動計算ではじき出した結果が天然という天性の人たらし。

光ちゃんと異なり萌ちゃんは中高一貫の中からのエスカレーター組。それどころか幼稚舎からのエスカレーターにした方がやけにしつくりくるのは作者だけではないと思います

僕君

かわいくてわるーいお姉ちゃんたちに善意か下心か何を思ったか単なる募金だと思って近寄ってしまったとっても不幸でとっても幸運な男の子。今回様々な理由でかわいいという設定をつけてくれました。どうか皆さんこの作品の中ではかわいいを作ってください。

Nothing either good or bad, but thinking makes it so.

Decided it by your Gods only.

1章 よいこの募金

凡例

青字：状況説明、登場人物の動作や感情を表現したもの。イメージを補完のために残してあります。

scene1

（駅前にていつもの通りお財布を吟味する二人 ※少年の目線中心の位置配置になっています。）

光 ⇒ ぼきーんぼきーんぼきーんお願いしまーす

萌 ⇒ 募金のご協力お願いしまーす♥

…って光ちゃんやる気なさすぎじゃないですかあ～？

光 ⇒ だってさあ真面目にやってさあ～

マジで募金する人いたらめんどくない？

「若いのに頑張ってるねえ～これ気持ちだけど…」

みたいな感じでおばあちゃんが募金してくれたところで…

「いや、うちら別にあんた相手にしたいわけじゃないんですけど」

ってならない？

萌 ⇒ 光ちゃんヒドイですよ～♥

折角のご厚意なんですから、てきとーにありがとうございます♥

って言っとけばいいんですよ～

光 ⇒ そんな労力すらかけたくない！

さっさとちょろそうな金づるみつけて、
てきとーに弄んでとことん絞りっとってごっそりお金ほしーのー！！

萌 ⇒ たしかにー♥

それで光ちゃん見つかりましたか～？

お金もってそうでえ～♥女の子に免疫なさそうな人♥

光 ⇒んにやあ～
探してはいるんだけどね～これがなっかなっかねえ～って...
ん？もえもえーその隣の子誰？

萌 ⇒隣？

んー？あらあ～？あらあら～？

(光ちゃん、少年の正面に移動する)

光 ⇒知ってる子？

萌 ⇒いやー？全くう♥

光 ⇒じゃ、なんだろね？ねえ僕？うちらになんか用？

萌 ⇒萌たちにご用事ですかあ～♥

(かわいいお姉ちゃん二人に話かけられ恥じらいと喜びから紅潮させる少年)

光 ⇒あー♥照れてるーwwwかわいいー♥

萌 ⇒赤くなっていますねえ～♥かわいいですねえ～♥

光 ⇒このまま持ち帰っちゃおつか♥

萌 ⇒それも悪くないですねえ～♥

(顔を見合わせて笑う二人)

光・萌 ⇒ふふふふふふwww

(少年がおずおずと差し出す手に握られていたのは1枚の10円玉)

光 ⇒んー？10円？ってことは...

萌 ⇒もしかして僕、萌たちに募金してくれるんですかあ～♥

光 ⇒ほーらだから言ったじゃん♪もえもえー

萌 ⇒あーほんとですねえ～勘違いさせてしまいましたね～♥

光ちゃんごめんさあい♥

光 ⇒んー許す♪

だってこの子よさそうじゃない？もえもえ？

萌 ⇒んー？もしかして...光ちゃんこの子に募金させる気ですかー？

光 ⇒まあせっかく来てくれたし、かわいいし、ちょっといじわるしてあげない？

萌 ⇒そうですねえ～♥萌のせいでもありますしねえ～♥

何よりかわいいですし♥

でも光ちゃんいいんですかあ？

多分この子お金大してもってないですよ？

光 ⇒ まあお財布くんよりこの子の方が貴重だしー

何より募金は金額じゃないっしょ？

萌 ⇒ そうでしたねー♥

じゃあこの子に募金してもらいましょうか？

光 ⇒ ごめんねー僕ー♥

のけ者にしちゃって♥

お姉ちゃんたちに募金したいー？

(無言でしきりに頷く少年)

光 ⇒ そっかー♥ありがとー♥

萌 ⇒ やさしい子ですねえ～♥

萌たちすっごいうれしいですぅ～♥

光 ⇒ でも、もえもえーうちらがただで年下の子からお金もらうのはさすがにあれだけよねー？

萌 ⇒ そうですねー何かお礼しないといけませんね～♥

光 ⇒ そうそう♪

(光ちゃん、そう言いながら少年との距離を近づける)

光 ⇒ お姉ちゃんたちがいっぱい、いい子いい子♥

(萌ちゃんも合わせて少年との距離を詰める)

萌 ⇒ いっぱいえらーいえらーい♥

光 ⇒ してあげるからー♥

萌 ⇒ 逃げちゃダメですよぉー♥

光・萌 ⇒ 僕くん♥♥♥

(少年、すっかりお姉ちゃんたちに魅了され辛うじて残された力でゆっくり頷く)

光 ⇒ はーい決定♥じゃお姉ちゃんたちについてきて♥

萌 ⇒ 萌たちのおててつないでくれますかあ～♥

ああ～♥ふにふにしてますねえ～♥

光 ⇒ ほんとだあ～♥ふにふにやわらかーい♥

光・萌 ⇒ かわいいーー♥

光 ⇒ ふふーん♪じゃあ行こっか

萌 ⇒ そうですね♥

光・萌 ⇒ セーの♥ご奉仕の世界へごあんなーい♥

改ページ

scene2

(二人につれてこられてやってきたのは人通りの全くない路地裏)

(不安から顔をこわばらせている一方お姉ちゃんたちの手の感触や匂い成熟した肉体を見ながら胸の高鳴りを抑えきれない様子の少年)

光 ⇒ はーい♥どうちゃーく♪

萌 ⇒ ここなら誰にも邪魔されずお礼できますねー♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちとのお散歩楽しかったー？

萌 ⇒ 萌たちとおててにぎにぎ柔らかかったですかー？

光 ⇒ お姉ちゃんたちからあまーくていい匂いしたー？

(少年、お姉ちゃんたちに内心を見透かされたような質問攻めを受けて顔をすっかり真っ赤にさせる)

(二人、少年の心をすっかり手玉にとったと確信するやいなや、ニヤニヤ余裕を見せながら少年を弄ぶ)

萌 ⇒ …ってふふw光ちゃん大変ですよー♥

すごい顔赤くしちゃってますよ～♥

光 ⇒ ほんとだー♥熱でもあるんじゃなーい？

(光ちゃん、おでことおでこをひっつける) どれどれ～♥

萌 ⇒ (萌ちゃん、おでことおでこをひっつける) 大丈夫ですかー？

光 ⇒ あーなんか段々熱くなってるねー♥もえもえー？

萌 ⇒ うふふふ♥お耳のどこまでまっかですかー♥

どうしたんでしょうねー？光ちゃん？

光 ⇒ もしかしてうちらのせいかなー？

でもうちら、おててにぎにぎしながら歩いてただけだよねー？

萌 ⇒ そうですよねー？ふー♥ふー♥ふふw大丈夫ですかー♥

光 ⇒ うーん…あっ♪

萌 ⇒ 光ちゃん分かりましたー？

光 ⇒ いやーわかんないけどー？

ほら♪うちらまだ、募金受け取ってあげてないじゃん？

駅から今までずっと、渡し損ねちゃってる状況なんだよねー♪

萌 ⇒ あー♥確かにー♥募金もせずにー♥

萌たちからお礼もらっちゃったらおかしいですもんねー♥

光 ⇒ そうそう♪

もしかして、お姉ちゃんたちに気づいて欲しくて、顔赤くしちゃってるのかなー？

萌 ⇒ きっとそうですよー♥ごめんさあい♥

僕くん♥萌たち気づいてあげられなくてー♥

光 ⇒ そっかー♪ありがと♥僕くん♥

お姉ちゃんたちに教えてくれて♥

萌 ⇒ 今募金させてあげますねえ～♥

光 ⇒ ほい♪それじゃこの箱にさっきの 10円入れて♥

萌 ⇒ ここですよ～♥こーこ♥

この中に入れてください♥

光 ⇒ 君の 10円をしっかり、お姉ちゃんの中に入れるんだよ～♥

萌 ⇒ 奥までしっかり入れてください♥

(少年、言われるがままされるがままにおぼつかない様子で 10円を箱の中に入れ
る)

光・萌 ⇒ よくできました♥

光 ⇒ うーん♥よしよし♥困ってる人を助けようとする僕くんかっこいいなあー♥

萌 ⇒ まるでヒーローみたいですねえー♥光ちゃん♥

光 ⇒ そうだねー♪

お姉ちゃんのこと助けてくれる、ヒーローくんにはどんなお礼したらいいのかな
ー？

萌 ⇒ どんなお礼だったら喜んでくれるんですかねえ～？

光 ⇒ あっ♪

そのまっかっかのお顔冷ましてあげよ♥もえもえ♪

萌 ⇒ 萌たちのせいですもんね～♥いいですねえ～♥

光 ⇒ はーい決定♪

扇いで、僕君のその真っ赤なお顔冷ましてあげる♥

萌 ⇒ 仰ぐのはあ～♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちのお～♥

光・萌 ⇒ スカート♥

萌 ⇒ それじゃ僕君♥

萌達のスカートに顔、近づけてください♥

(少年吸い寄せられるようにスカートに顔を近づける)

光 ⇒ そうお姉ちゃんたちの間♥

うんうん♪その辺♥

お姉ちゃんの言うこと聴けてえらいぞー♥

萌 ⇒ 今そのお顔、冷ましてあげますね～♥

光 ⇒ もえもえいっくよー♪

萌 ⇒ はあい♥

光・萌 ⇒ セーの♥

光・萌 ⇒ パータ♥パータ♥

(二人、スカートを大きくめくりあげ風を送る)

萌 ⇒ パータ♥パータ♥涼しいですかあ～♥僕君♥

光 ⇒ パータ♥パータ♥ひんやりしてきもちいいっしょ？

萌 ⇒ パータ♥パータ♥

光 ⇒ パータ♥パータ♥

(二人、予想通り少年が下着にくぎ付けになってることに気づきひそひそと話す)

萌 ⇒ ふふ♥光ちゃーん？

光 ⇒ ふふ♥もえもえも気づいた？

萌 ⇒ もちろん♥やっぱり男の子ですねえ～♥

光 ⇒ そうだねえ♥ってかめっちゃかわいくない？

萌 ⇒ かわいいですねえ～♥

光 ⇒ あれえ？ 僕君♥どこ見てるのかなあ～♥

萌 ⇒ さっきから僕君と目が合わない気がするんですけどお～♥

なに見てるんですか～？

光 ⇒ なんかあ♥

お姉ちゃんたちのスカートの方ばっか見てる気がするんだけどお～♥

気のせいかにゃ～？

萌 ⇒ ふふw何か珍しいものもあるんですかねえ～？

光 ⇒ うーんwわっかんないなあ～♥

萌 ⇒ あっ光ちゃん♥一緒に当ててみません？

光 ⇒いいねー♪それ～♥

僕君が夢中になってるもの、お姉ちゃんたちが当てていい？♥

萌 ⇒当たったら、素直に頷いてくださいね？♥僕君♥

光 ⇒じゃあ試しに、スカートの仰ぎ方変えてみよっか？もえもえー？

萌 ⇒そうですね～♥何か分かるかもしれませんね～♥

光 ⇒ちょっと小刻みにして、扇ぐの抑えてみよっか？

パタパタパタパタあ～♥

萌 ⇒そうですねえ～♥

パタパタパタパタあ～♥

(二人、パンツが見ないようすっごく小さく小刻みにスカートを仰ぐ)

萌 ⇒ふふw光ちゃんなんかちょっと、しゃんぱりしてるように見えませーん？

光 ⇒確かに～♥

見たかったものが見えなくなっちゃのかなあ～？

萌 ⇒萌たちまた悪いことしちゃいましたかねえ～？

光 ⇒ってことはあ～♥

スカートが捲れなくて見れなくなるもの～？♥

これで分かるー？もえもえー？

萌 ⇒うーん♥これだけじゃまだわかりませんね～♥

少なくともスカートではないみたいですねえ～♥

光 ⇒そうだねー？

じゃあ今度は段々おーきく扇いでみよっか？もえもえ♥

萌 ⇒そうですねー♥ぱたぱたぱたぱたぱたあ～♥

光 ⇒ぱたぱたぱたぱたあ～♥

萌 ⇒ふふw光ちゃん♥なんだかスカートめくれるほど幸せそうに見えません～？

光 ⇒ふふw確かに♪ってことはー♥

スカートがめくれるほどー♥僕君の見たいものが見えるってことだよねえ～♥

萌 ⇒あーw萌やっとわかりましたよー♥

光 ⇒ふっふーん♪実はうちもお～♥

じゃあせーので言おっか♪もえもえ♪

萌 ⇒りょーかい♥

光 ⇒ 僕君があ～♥

萌 ⇒ くぎ付けになってたのはあ～♥

光・萌 ⇒ セーの♥

光・萌 ⇒ お・ぱ・ん・つ♥

光 ⇒ だよねえ～♥

萌 ⇒ ですよねえ～♥

萌 ⇒ あってたらあ～素直に頷いてくださあいねえ♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちのおパンつ見てたんでしょ～？

(言われるがままゆっくりうなずくことしかできない少年)

光 ⇒ うんうん、そうかそうか～♥

お姉ちゃんたちのおパンつ見てたんだあ～♥

萌 ⇒ エッチな子ですねえ～♥むっつりさんですねえ～♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちのおパンつに興味あんの～♥？

萌 ⇒ 萌たちのおパンつ見たいですかあ～♥

光 ⇒ もっと見せてあげてもいいけどお～♥

萌 ⇒ その代わりい～♥

光 ⇒ ぼ・き・ん♥

萌 ⇒ 萌たちにしてくれませんかあ～♥

光 ⇒ 僕君はお姉ちゃんのおパンつのために、いくらで募金してくれるのかなあ～♥

萌 ⇒ むっつりさんの僕君はー♥萌たちにいくら募金してくれるんですかあ～♥

光 ⇒ いっぱいいくれるとーお姉ちゃんたち嬉しいなー♥

萌 ⇒ 萌たちを悦ばせてくれませんかー♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちのエッチなおパンつもっと見たいよねえ～♥

萌 ⇒ だったらー♥お財布出してください♥僕くん♥

光 ⇒ じゃないとお姉ちゃんたち帰っちゃうよー♥僕君♥

萌 ⇒ ふふーん♥出せましたねー♥

光 ⇒ 男の子って感じのお財布ー♥

かわいくなーい？もえもえー？

萌 ⇒ 確かにwそういうお財布の男の子多かったですよねー♥

じゃあその中身♥

ぜーんぶ♥箱の中に入ってくれますか～♥

光 ⇒ そしたらあ～♥

お姉ちゃんたち、おばんついっぽい見せてあげる～♥

萌 ⇒ それにい～♥

さっきからおっしゃせてる、おちんちん♥

萌たちの前でシコシコしてもいいですよお～♥

光 ⇒ ほんとだあw

ズボンのどこ膨らんでるう～♥

もうちんちんおっきくなっちゃうこと知ってるんだあ～♥

萌 ⇒ しかも僕君♥

今、萌のシコシコって言葉に反応しましたよねえ～？

光 ⇒ ってことはあ～♥

僕君もしかしてえ～♥

オナニーしたことあるってことかにゃ～♥？

あーw恥ずかしがってるかわいいー♥

萌 ⇒ 恥ずかしがらなくいいんですよお～♥

男の子だったら当たり前のことなんですよお～♥

光 ⇒ むしろお姉ちゃんたちで興奮してくれてえ～♥

すっごく嬉しいなあ～♥

萌 ⇒ 募金してー♥萌たちをもっと悦ばせてくれませんかー？

光 ⇒ そしたらー♥僕君もいっぱい幸せになれるよー♥

ね♪だからー♪

この中にー♥全部入れちゃお♪

萌 ⇒ はーい♥お財布あけてくださーい♥

光 ⇒ あっ♪お札あるんだー♥お金もちだねえ～♥

萌 ⇒ じゃあそのお札からいれていきましょうか♥

光 ⇒ 三枚あるから一緒に数えながら入れてこっか？

準備はいい？ じゃあいくよー♥

光・萌 ⇒ いちまーい♥

萌 ⇒ 次～♥

光・萌 ⇒にまーい♥

光 ⇒最後♥

光・萌 ⇒さんまーい♥

萌 ⇒あーあ♥全部入っちゃいましたね～♥

光 ⇒大事なお札、お姉ちゃんたちにくれるなんてえ～♥

僕君すっごいやさしいね～♥

お姉ちゃんそういう男の子だい好き♥

萌 ⇒萌も僕君のこと一♥すっごい好きですよ～♥

光 ⇒だからついでに小銭もいれちゃおっかー？

萌 ⇒入れちゃいましょうよお～♥

萌たちの中にい～♥小銭♥

光 ⇒はあい♥じゃんじゃんとしてえ～♪

萌 ⇒この箱の中にぜーんぶいれちゃいましょうね～♥

(少年、地滑りがごとく小銭をじゃらじゃらといれる)

光 ⇒全部入ったかな～♥

萌 ⇒1円残らずはいりましたねえ～♥大変よくできました～♥

光 ⇒えらいぞ～♥じゃあうちらもお礼言わないとね♥

萌 ⇒そうですね～♥僕君♥募金してくれてえ～♥

光・萌 ⇒ありがと♥

光・萌 ⇒チュツ♥

光 ⇒もうお姉ちゃんたちにメロメロだねえ～♥僕君♥

萌 ⇒もう僕君は萌たちのものですよお～♥

光 ⇒そうそう♥

だって僕君の大事なお金ぜーんぶうちらのものになっちゃったもんねー♥

萌 ⇒なのでお約束通り、萌たちのおばんつ見せてあげますねー♥

光 ⇒だから僕君はあ～♥

お姉ちゃんたちのおばんつに夢中になって、おちんちんシコシコしてねー♥

ってことでズボン下ろして♥僕君♥

萌 ⇒萌たちにおちんちんみせてくださいよお～♥

光 ⇒お姉ちゃん僕君のおちんちん見たいなあ～♥

(少年、羞恥を感じながらズボンおよび下着を脱ぐ。)

萌 ⇒ あー♥かわいらしいちんちんしてますねー♥光ちゃん♥

光 ⇒ そうだねー♥大人の人のだったら笑っちゃうかもーw

かわいいー♥

萌 ⇒ ピクピク♥

萌達にご挨拶しますよ～♥

かわいいですねえ～♥

光 ⇒ ほんっとー♥かわいいねー♥

これでうちらのパンツ見せたらどうなっちゃうだろうねー？

萌 ⇒ どうなっちゃうんでしょうねー？

シコシコシコシコ♥

おててが勝手に動きだしちゃうかもしれませんねー♥

光 ⇒ ふふwちょっと見せてあげよっか♥もえもえ♥

萌 ⇒ りょーかい♥

光・萌 ⇒ セーの♥ちらっ♥

光 ⇒ お姉ちゃんのパンツ見える？

僕君はこれが見たかったよねえ～♥

萌 ⇒ ほらあ～♥萌のおぱんつみてえ～♥

ちんちんにぎにぎシコシコしていいんですよお～♥

光 ⇒ そうそう♥お姉ちゃんのおぱんつ見ながらー♥

しーこ♥しーこ♥

萌 ⇒ なんで萌たちのおぱんつ見るとおちんちん硬くなっちゃうでしょうねえ～♥

不思議ですね～♥しーこ♥しーこ♥

光 ⇒ ほらほら僕君見てえ～♥

お姉ちゃんのおぱんつここ♥

リボンついてるんだよお～♥かわいいっしょ♥

萌 ⇒ ふふ一生懸命シコシコかわいいですねえ～♥

僕君♥

萌のおぱんつも見てくださいよお～♥

ほらこの下着猫ちゃんがいっぱいいるんですよお～♥

ここほら猫ちゃんの耳になってるんですよ～♥

ほらあ～♥かわいいですよねえ～♥

光 ⇒えっ!?マ?

萌 ⇒マジです♪ほら♪

光 ⇒あっほんとだあ～♥

もえもえのやつかわいい～♥いいなあ～♥

うちもほしいー♥

萌 ⇒あとで買いにいきましょ♥光ちゃん♥

光 ⇒そうだねー僕君のお金、お姉ちゃんのおぱんつに使わせてもらうねー♥

萌 ⇒いいですよねー？僕君♥

光 ⇒うんうん♥頷きながら必死にシコシコ♥

男の子って何歳でも変わんないねー♥

萌 ⇒そうですねえ～♥

僕君もその辺のお財布さんみたく、頭おばかさんになってちんちんシコシコ♥

そんなにきもちいいんですかねえ～？

光 ⇒はたから見るとすっごいまぬけだよね～♥

どんだけ鍛えてもー♥

どんだけ頭良くてもー♥

ちんちん握られちゃうだけで女の子に負けちゃうわけじゃん？

萌 ⇒そうですねえ～♥

僕君にとっていいお勉強になってるといいですねえ～♥

光 ⇒そうだねえ～♥

僕分かるかな～？

分からぬなら教えてあげるね♥

男の子はあ～♥

女の子に勝てないんだよ～♥

萌 ⇒もっというとお～ちんちんシコシコしちゃうとお～♥

男の子はよわーいよわーい♥生き物になっちゃうってこと♥

分かりましたかあ～？

光 ⇒そっかそっか♥わかっちゃったかー♥

賢いね～♥

賢いから～もっとシコシコしてバカになってねっ♥

萌 ⇒お利巧さんな僕くんのために、萌お尻の方見せてあげますね～♥

(萌ちゃん、後ろに振り向き、スカートを大きくめくり臀部を露わにする。)

ほおら♥萌のお尻ですよ～♥

ぷにぷにですよ～♥

柔らかいですよ～♥

ほら左手出してください♥

触らせてあげますよー♥

(萌ちゃん、少年の左手をとり臀部をまさぐらせる。)

(光ちゃん、負けじと下着を喰い込ませて少年の注目を集め興奮を煽る。)

光 ⇒うちはあ～♥こーしてえ～♥

おぱんつひっぱってえ～♥食い込ませてえ～♥

ほらあ僕～♥

お姉ちゃんのおぱんつの中がー♥見えそうだねえ～♥

萌 ⇒僕くーん♥萌のお尻ですよ～♥

お尻ふーりふーり♥

お姉ちゃんのお尻見て萌のお尻目掛けてえ～♥

ちんちんシコシコしてくださーい♥

光 ⇒僕君♥

光お姉ちゃんのおパンツの中の方がいいよねえ～♥

お姉ちゃんのおパンツの中見えそうで見えないねー♥気になってシコシコ止まんないね～？

お姉ちゃんのココ見ながらシコシコ～ってするんだよ♥

光・萌 ⇒ほーら♥シーコ♥シーコ♥シーコ♥シーコ♥

光 ⇒んー？ イっちゃいそう？

お姉ちゃんたちのおぱんつ見て頭とろーんってなっちゃう？

萌 ⇒僕君のちんちんからあー♥しろくてどろーっとしたものがでちゃうんですかあ～♥

光 ⇒ザーメンでちゃうんだー♥白いおしっこぴゅっぴゅっしちゃうんだー♥

いいんだよ♥

男の子はそれを出すために生きてるんだから♥

萌 ⇒だからあ～♥萌たちのエッチな姿見ながら～♥

いっぱいぴゅっぴゅっしましようねえ～♥

光 ⇒ほーら♥シーコ♥シーコ♥

お姉ちゃんのおまんこみていっちゃえ♥

萌 ⇒シーコ♥シーコ♥

萌のお尻見てぴゅっぴゅっしちゃってくださあい♥

光 ⇒お姉ちゃんにイッてるお顔見せて♥

萌 ⇒萌にちんちんから白いの出すとこ見せてくださあい♥

光 ⇒ね？おねがーい♥♥♥

萌 ⇒おねがいしまーす♥♥♥

(少年、たまらず精を吐き出す。顔を上気させ夢と現実の区別がつかないほど朦朧としている)

光 ⇒見てえ～♥もえもえ～♥僕君イッてる～♥

そこらの財布よりよっぽどかわいくなーい？

(萌ちゃん、正面を向き直し少年に近づき彼の表情を満足そうに眺める)

萌 ⇒ほんと幸せですね～♥

見てるこっちまで幸せになっちゃいますね～♥

僕くーん♥萌の顔見えますかあ～♥

(少年、萌の方へ顔を向ける。)

あはっ♥こっち見てますう～♥

光 ⇒ちょっとうちも見たいー♥

僕君♥

こっちみて♥

(少年、光の方へ顔を向ける。)

あーもう♥

とろんとしちゃってるかわいいなあ～♥

萌 ⇒お射精気持ちよかったですかあ～♥

光 ⇒お姉ちゃんに手伝ってもらうオナニー気持ちいいよねえ～♥

またやりたい？

そうだよねえ～♥オナニー気持ちよかったですもんねえ～♥

萌 ⇒でもそんな気持ちのいいオナニーができたのはー♥

萌たちが僕君に募金させてあげたからなんですよ～♥

光 ⇒僕くんがまたお姉ちゃんたちに「気持ちよくされたーい♥」って思ったら

お姉ちゃんたちにお願いしにくるんだよ♥

萌 ⇒わかりましたかあ～？

光 ⇒わかったかなあ～？

光・萌 ⇒お・へ・ん・じ♥

光 ⇒よしよし♥えらいねー♥約束だよ♥僕君♥

萌 ⇒約束ですよ～♥僕君♥

光 ⇒んじゃおいとましよっか♥もえもえ♥

萌 ⇒そうですねえ～♥楽しかったですよ♥僕君♥

光 ⇒募金もありがとねー♥またお姉ちゃんと遊ぼうねー♥

光・萌 ⇒ばいばーい♥

[改ページ](#)

2章 わるいこの募金

scene1

(スーパーもしくは商店街の一角などを想定、そこでおつかい中の少年)

(人ごみから声がする。聞くだけで胸が高鳴り思考が散乱してしまう魅力的な声が、)

光 ⇒ あー♪もえもえー♪あの子だー♥

萌 ⇒ んー？あの子ー？どの子ですかー？

光 ⇒ ほらこの前募金させてあげた♥

萌 ⇒ あー♥あの子ですかー♥どこですかー？

光 ⇒ もえもえのしょうめーん♥

萌 ⇒ んー…？あー♥ほんとだー♥ほんとですねえ♥

(二人、少年接近する。)

萌 ⇒ またお会いしましたね～♥

覚えてますかあ～♥

萌ですよお～♥

光 ⇒ 光お姉ちゃんですよお～♥僕くんひどーい♥

ねー？もえもえー？

萌 ⇒ そうですよー♥

あれから一回も萌たちに募金しにきてくれないじゃないですかあ～♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちのこときらーい？

萌 ⇒ きらいですかあ～？

光 ⇒ ふふw僕君困ってるー♥

萌 ⇒ 分かってますよー♥萌たちのこと嫌いじゃないですよねー♥

光 ⇒ その反応で許してあげる♥

んで僕くんは何してたのかにゃー？

萌 ⇒ んー？あー♥もしかしておつかいですかあ～♥

えらいですねえ～♥いい子ですねえ～♥

光 ⇒ ママから頬まれたんだあ～♥

じゃあお姉ちゃんたち邪魔しちゃったかなあ～？

萌 ⇒ 萌たち僕君と今から遊びたいんですけどお～♥ダメですかあ～？♥

光 ⇒ お姉ちゃんたち～♥僕君と遊びたいなあ～♥ねえ～いいでしょ～♥

萌 ⇒ 見てください光ちゃん♪僕君すっごい困ってますねえ～♥

光 ⇒ ほんとだ♪

光・萌 ⇒ かわいい一♥

光 ⇒ でもでもお～♥おつかいはお姉ちゃんと遊んでからでもできるよね～♥

萌 ⇒ 萌たちは今、僕と遊びたいんですよ～♥

光 ⇒ いいでしょ？ 僕♥

萌 ⇒ いいですよねえ～♥

光・萌 ⇒ ねえ～♥？

萌 ⇒ きまりですねえ～♥えらいですねえ～♥

光 ⇒ じゃあお姉ちゃんたちと、この前のとこ行こっか♥

萌 ⇒ また萌たちとおててにぎにぎしましょうねえ～♥

光 ⇒ お姉ちゃんの手にぎにぎしようねえ～♥

萌 ⇒ はーいしゅっぱー一つ♥

scene2

(三人、他愛もない話をしながら以前訪れた路地裏へやって来る)

萌 ⇒ へー♥ 算数のテストあったんですかあ～♥

光 ⇒ んでどうだった？ん？結果だよ結果♪

お姉ちゃんに教えて♪

うんうん♪

ふーん♪あんまできなかったんだー♪

もしかして僕君、算数苦手？

うんうん♪

そっかあ♥ そうなんだー♥

じゃあじゃあ♪

お姉ちゃんが今度算数教えてあげよっか♥

萌 ⇒ よかったですねえ～♥

光ちゃんすっごいお勉強できるんですよお～♥

んー？ 萌ですかあ～♥

んふふふふ～♥ ふふふふ～♥ 秘密でえす♥

光 ⇒ あーもえもえずるーい！

ねえねえ聞いて僕君？

萌お姉ちゃんねー、うちがなんとかしてあげないと毎回あかて…

萌 ⇒ (萌ちゃん、光ちゃんの声をさえぎる) はい着きましたよお～♥

光 ⇒ さーえーぎーるーなー！

萌 ⇒ いいじゃないですかあ～♥

そんなことお～♥

それより～僕君と遊びましょうよお～♥

光 ⇒ うー確かにい～そうだけどお～……

萌 ⇒ ほら僕君も遊びたくてそわそわしますよあ～♥

してあげましょうよお～♥

光 ⇒ あー♥ ほんとだあ～♥

僕君もぞもぞしてるぅ～♥

お姉ちゃんたちと、エッチなことしたくてたまらないんだー♥

(萌ちゃん、少年との距離を縮め囁く)

萌 ⇒ 僕君♥前回お姉ちゃんがしてくれたこと覚えてますか？

(光ちゃん、少年の後ろにまわり込み囁く)

光 ⇒ うんうん♥そうそう♥

お姉ちゃんたち、僕君におぱんつ見せてあげたよねえ～♥

萌 ⇒ それをみた僕君はこーふんしてえ～♥

おちんちん上下にシコシコ♥シコシコ♥

光 ⇒ シコシコしちゃった僕くんはあ～♥

気持ちよすぎてちんちんからザーメンぴゅーぴゅー～♥

萌 ⇒ おもししちゃったんですよねえ～♥

萌 ⇒ 恥ずかしいですねー♥

今回は萌たちに何されちゃうんですかねえ～♥

光 ⇒ 今回はねえ～♥

サンドイッチ作ろうと思うんだあ～♥

お姉ちゃんたちがパンで僕君が具材♥

萌 ⇒ 分かりませんかあ～？

光 ⇒ っていうかー♥もう完成してるんだよ♥

萌・光 ⇒ サンドイッチ♥

萌 ⇒ 前が萌でえ～♥

光 ⇒ 後ろが光お姉ちゃん♥

この状態で僕君をぺっちゃんこ♥

萌 ⇒ 萌たちのいい匂いで頭いっぱいになっちゃいますねえ～♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちのやわらかーい体が僕に当たってえ～♥

ふにゃふにゃになっちゃうねえ～♥

萌 ⇒ これから僕君のためにいろいろしてあげようと思うんですけどお～♥

光 ⇒ その前にい～♥

光・萌 ⇒ ぼ・き・ん♥

萌 ⇒ しましょうねえ～♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちが、ただでやってくれると思ってたかなあ～♥

萌 ⇒ そんなわけないですよねえ～♥

萌たちはあ～♥

募金した人を気持ちよくしてあげてるんですよお～♥

光 ⇒ それは僕君だって一緒♥びょーどう♥

僕君が募金してくれたでしょ？

あれお姉ちゃんすっごく嬉しかったなあ～♥

僕君もそうでしょ？

萌 ⇒ だから萌たちが募金させてあげますよお～♥

光 ⇒ お金？

あるでしょ？

僕君お姉ちゃんに会った時何してたかな～？

萌 ⇒ おつかいでよねえ～♥

おつかいってことはあ～♥

ママから預かってますよねえ～♥お金♥

光 ⇒ ママからあずかった大事なお金♥

それでお姉ちゃんたちに募金できるよねえ～♥

萌 ⇒ 優しい僕君ならあ～♥

できますよねえ～♥

光 ⇒ しかもお～♥

今回は前みたいに箱にお金いれるんじゃないんだよー♥

萌 ⇒ 萌に入れるんですよー♥

光 ⇒ 萌お姉ちゃんのおっぱい大きいよねえ～♥

萌お姉ちゃんのおっぱいいっぱい見たいよねえ～♥

もえもえ～♥

僕君におっぱい見せてあげて♥

萌 ⇒ はあい♥

いいですよー♥

(萌ちゃん、徐に制服のボタンを上から開け始める)

萌 ⇒ ん♥僕君この前もおパンツだけじゃなくて萌のおっぱい見てましたよねえ～♥
つ♥

(萌ちゃん、制服を観音のように左右に広げておっぱいをつまびらかに見せてあげる)

萌 ⇒はあい♥僕君♥萌の大きなおっぱい見えますかあ～♥

光 ⇒もえもえのおっぱい触りたいよねえ～♥

特に、ここ♥おっぱいとおっぱいのあいだにい～♥

おてて入れてみたいよねえ～♥

萌 ⇒だったらあ～♥このおっぱいの間にい～♥

ママから預かったお金入れましょうよお～♥

光 ⇒そしたらあー♥僕君もー♥お姉ちゃんたちも♥

幸せになれるんだよお～♥

萌 ⇒ポケットの中にあるお金を出してくださいあい♥

光 ⇒出せたねえ～♥えらいえらーい♥

そしたらそれをお～萌お姉ちゃんのおっぱいに入れちゃおっか♥

萌 ⇒ここですよお～♥ここ♥

このやわらかーい萌のおっぱいにい～♥

ママから預かったお金♥ぱっくんさせるんですよ～♥

光 ⇒おてておっぱいに近づけてえ～♥もっとお～♥

萌 ⇒もっとお～♥もっと近くにきてくださいあい♥

光 ⇒そのまま萌お姉ちゃんのおっぱいさわってえ～♥

谷間の奥にい～♥お金入れようねえ～♥

萌 ⇒やあん♥僕君のおててふにふにですねえ～♥

でもお～ふにふになら萌のおっぱいの方が上ですよお～♥

ほらあ～♥むにむにい～♥

僕のおててもお金も萌のおっぱいがたべちゃってますよお～♥

もぐもぐう～♥

光 ⇒僕のおててお姉ちゃんに食べられちゃってるねえ～♥

どんどん食べられたくなっちゃうねえ～♥

萌 ⇒やあん♥

どこ触ってるんですかあー？

変なとこ触らないでくださいあい♥

ダメですよぉー♥ちゃんと募金してくださいー♥

光 ⇒ 僕君のエッチ♥すけべー♥へんたーい♥

そんな僕君も悪くないけどー

ちゃんと募金はしなきゃダメだよー♥

もうそのお金はお姉ちゃんたちのものでしょ？

萌 ⇒ 萌たちのものですよねえ～♥

光・萌 ⇒ ねえ～？

萌 ⇒ はあい♥募金♥ごちそうさまでした♥

ママからのおつかい代上手に募金できましたねー♥

偉いですねー♥

光 ⇒ ママからの頼みごとよりい～♥

お姉ちゃんたちの方が大事だよねー？

うんうん♪ そうだよねー♥

そんな僕のことお姉ちゃんだーいすき♥

萌 ⇒ もちろん萌も大好きですよ～♥

だからこーしてもっと好きになってもらうためにー♥

僕君をサンドイッチにしてるんですよ～♥

光 ⇒ 僕君、リバーシってしってる？

それと一緒にお姉ちゃんたちに挟まれたらあ～♥

頭お姉ちゃん一色になっちゃうんだよお～♥

萌 ⇒ 頭だけじゃなくてー♥

体もお姉ちゃんのものになっちゃうんですよ～♥

光 ⇒ っていうかあー♥

もうなってるんじゃないかなあ～？

お姉ちゃんたちのおっぱいに挟まれてえ～♥

萌 ⇒ やさーしくこしょ♥こしょ♥こしょ♥こしょ♥って囁かれてたらあ～♥

ちんちん反応しちゃいますよねえ～♥

萌が気づいてないと思ってましたかー？

萌の太ももさんにい～♥

僕君のかわいくおっきくなったおちんちんが当たってますよー♥

光 ⇒ 分かったかなー？

僕君の体はお姉ちゃんたちの体に負けちゃってること♥

お姉ちゃんたちの言いなりになった僕君に命令♥

おぱんつぬぎぬぎしちゃおっか～♥

萌お姉ちゃんの太ももさんに直接ちんちんおしつけた方が気持ちいいにきまってるよねえ～？

あっ♥でも♥

一応萌お姉ちゃんにお願いしてみよっか♥

萌お姉ちゃん♥

『お姉ちゃんの太ももに僕のおちんちん直接押し付けていいですかあ～♥』って

萌 ⇒ んー？ 何ですか？ 僕君♥

何か言いたいことでもあるんですかあ～？

光 ⇒ ほら言っちゃえ♥

(少年、萌に対して陰茎を直接擦り付けることを懇願)

萌 ⇒ えー♥

萌の太ももに直接おちんちんこすりつけたいんですかあ～♥

どうしましょうかねえ～♥

もし萌がダメって言ったらあどうしますう～？♥

光 ⇒ どうなっちゃうんだろうね～♥

(萌ちゃん、少年の後ろ側にいる光に耳打ちする。)

萌 ⇒ ふふ♥光ちゃん僕君の顔みてくださいよお～♥

(光ちゃん、少年の顔を覗く)

光 ⇒ うーん？ あはっ♥困ってる♥困ってる♥かあいいなあ～もう♥

萌 ⇒ そんな顔されちゃうと～♥

もっといじわるしたくなっちゃいますよねえ～♥

光 ⇒ そうだねえー♥

もっといじわるしてあげよっか♥

ねっ？ もえもえー♥

萌 ⇒ りょーかーい♥

僕君♥聞いてくださいあい♥

光ちゃんとお話した結果、

おぱんつを脱ぐことはおあずけすることになりましたあ～♥

光 ⇒ んー♥そんな顔しないのぉ～♥

その代わりい～♥

お姉ちゃんが気持ちいいことしてあげる♥

ちんちんだけが男の子が気持ちよくなる場所じゃないんだよー？

ねえ？僕君は考えたことあるかなー？

男の子の乳首ってなんのためにあるかってこと♥

萌 ⇒ 今から萌たちが教えてあげますねー♥

光 ⇒ お姉ちゃんが気持ちよくしてあげる♥

僕の乳首どこにあるのかなあ～♥

さすさすう～♥ここかなあ～♥

ここらへんだと思うんだけどなあ～♥

萌 ⇒ 体ぴくぴく動いちゃいますね～♥

光ちゃんのおててくすぐったいですかあ～♥

でもどこにあるんですかねえ～♥

僕君♥僕君♥僕君の乳首教えてくれませんかあ～♥

光 ⇒ 僕君の指で自分の乳首指さしてえ♥

お姉ちゃんたちに教えてくれるかなあ～♥

萌 ⇒ できますかあ～？

光 ⇒ できるよねえ～？

光・萌 ⇒ 僕君♥

光 ⇒ へえ～♥そこが乳首なんだあ～♥

萌 ⇒ あーあ♥

恥ずかしいことなのに自分で教えちゃいましたねえ～♥

光 ⇒ はずかしいねえ～♥

でもせっかく教えてくれたからもっと恥ずかしくしちゃうね♥

人差し指でくーる♥くーる♥くーる♥くーる～♥

この円の真ん中にい～

僕君のかわいい乳首があるんだねえ～♥

くーる♥くーる♥

萌 ⇒くすぐったいですかあ～?

お顔に出てますよお～♥

もう光ちゃんはいじわるですねえ～♥

いいこいいこー♥

僕君のこと助けてあげたいところなんすけどー♥

でもですねー僕君♥

萌もいじわるしちゃいますねー♥

(萌ちゃん、少年を胸にうずめる。)

萌 ⇒はーい♥萌のおっぱいにむぎゅう～♥

むぎゅむぎゅむぎゅ～♥

暴れちゃダメですよー♥

萌のおっぱいが僕君の居場所ですよー♥

光 ⇒はーい♥動かないでー♥

くーる♥くーる♥くーる♥

いじわるなお姉ちゃんでごめんねえ～♥

でもおお姉ちゃんねー

僕君のことイジメるのだあい好きなの～♥

くーる♥くーる♥

そんなお姉ちゃんのこと嫌いになっちゃうかなあ～♥

萌 ⇒ふふ♥

光ちゃんそんなことないみたいですよお～♥

おっぱいの中で首必死に横に振ってくれてますよお～♥

光 ⇒ほんとお～?

よかったですあ～♥

じゃあもっと虐めちゃうね～♥

ちーくーび♥

つーんつん♥

ここが僕の乳首だよねえ～♥

つーんつーんつん♥

どう？あってるよね？

萌 ⇒あー♥今度は首を縦に振ってますねえ～♥

光 ⇒当然だよねー♥

だって僕君が教えてくれたもんねー？

つーん♥つーん♥どう？乳首ってきもちいいでしょー？

萌 ⇒ふふふ♥さっきより必死に頷いてますよお～♥

でも光ちゃーん♥

光 ⇒んー？

萌 ⇒僕君が頷いてるのって～

おっぱいにお顔にこすりつけたいだけかもしれませんよお♥

光 ⇒はあ？そんなわけないじゃーん♥

ね？僕君♥お姉ちゃんのつんつんがしゅきなんだよねー？

(萌ちゃん、おっぱいを上下に揺らしながら、)

萌 ⇒違いますよねー？僕君♥

光ちゃんの乳首つんつんよりも～♥

萌のたゆんだゆんのおっぱいさんの方が気持ちいいですよねえ～♥

むにむに♥むぎゅううう～♥

(少年、おっぱいの動きに合わせて自然と頭が上下に動いてしまう)

光 ⇒むー！！お姉ちゃん焼きもち妬いちゃうぞー！

いいのー？いいんだー♥

じゃあ僕君の乳首つねっちゃう♥

むぎゅう～♥

そんでひっぱちゃーう♥

ぎゅううううううう～♥

萌 ⇒ふふふ♥びくんびくん♥

体跳ねちゃってえ～♥

ダメじゃないですかあ～♥

萌のおっぱいからは逃げられませんよお～♥

萌 ⇒むぎゅぎゅぎゅの.....

ぎゅううう～♥

光 ⇒くーる♥くーる♥くーる♥くーる♥くーる♥ぎゅつ♥

くーる♥くーる♥こーり♥こーり♥つんつん♥ぎゅつ♥

あははははw

僕くんの乳首弄るのたのしいー♥

萌 ⇒だーかーらあ~♥

萌のおっぱいから離れちゃダメじゃないですか~♥

もっとしっかり、萌の腰にしがみついてくださいよお~♥

光 ⇒つんつん♥

お姉ちゃんに乳首いじられるの気持ちいいねえ~♥

萌 ⇒むにむに♥

お姉ちゃんのおっぱい柔らかいですねえ~♥

光 ⇒くーるくーる♥

焦らされて頭おかしくなっちゃうねえ~♥

萌 ⇒むぎゅ♥むぎゅ♥

萌の匂いでふわふわしゃいますねえ~♥

光 ⇒こりこり♥かりっ♥

気持ちよすぎて体カクカクしちゃうねえ~♥

萌 ⇒ぱふぱふ~♥

でもお射精はできないですねえ~♥

光 ⇒くりくり♥

おちんちんも気持ちよくなりたいよねえ~♥

萌 ⇒萌の太ももにおちんちんカクカクパンパンしたいですよねえ~♥

光 ⇒おズボンぬぎぬぎしたいよねえ~♥

じゃあ.....

光・萌 ⇒ぼ・き・ん♥しましょうねえ~♥

光 ⇒んー？どうしての一僕？また困りごとかにや～？

萌 ⇒なにに困ってるんですかねー？

んふふふ~♥萌たちに相談してくださいよお~♥

光 ⇒んー？言わないと乳首ひっぱっちゃうぞー♥うりや♥

萌 ⇒ふふふ~♥もしかしてー♥

お金ですかー？

さっきの募金がー♥僕君の全部だったんですかー？

光 ⇒そっかー♥

ママからもらったお金が全部だったんだー♥

それはざんねんだねー♥

萌 ⇒募金できないんだったら あ～♥

萌の太ももにおちんちんパンパンできませんねえー♥

光 ⇒でも僕君はお射精したいんだよね～？

おちんちん気持ちよくなりたいよねえ～？

お姉ちゃんたちに気持ちよくされたいんだよね～？

うんうん♥そっかあ～♥

そうだよねえ～♥

じゃあ光お姉ちゃんが助けてあげよっか♥

助けてほちい？♥

萌 ⇒ふふ♥

よかったですね～

光ちゃんが助けてくれるみたいですよ～♥

どうやって助けてくれるんでしょうね～？

(光ちゃん、ポケットから財布を取り出すとそれを少年の前にぶら下げるにかざす)

光 ⇒ふつふーん♥

これ♪お姉ちゃんのお財布ね♥

この中のお金♥僕君に使わせてあげる♥

萌 ⇒光ちゃんのお金使えばおちんちん気持ちよくできますよお～♥

よかったですね～♥

光 ⇒ほら♥お姉ちゃんのお財布開けていいよ♥

いっぱい入ってるっしょ♥

それ全部使っていいからねえ～♥

萌 ⇒それでえ～♥

僕君は萌の太ももすりすりにー♥

いくら募金してくれるんですかあ～♥

光 ⇒ んー？ 一万円でいいのー？

たった一万円なのー？

萌 ⇒ それだけですかあ～？

僕君のお射精したいって気持ちはー♥

それだけなんですかあ～？

たったお札一枚で表せるんですかあ～♥

光 ⇒ そうだよお～♥

にまーい♥さんまーい♥よんまーい♥ごまーい♥

お札いっぱい入ってるんだしー♥

僕君のお射精したい気持ちをお金で表してほしいなあ～♥

萌 ⇒ わからなかつたらあ～♥

全部使っちゃえばいいんですよお～♥

それが一番萌たちに僕君の気持ちが伝わると思いませんかあ～♥

光 ⇒ 何より僕君にとって一番わかりやすいでしょ？

ほら♥早くお札全部つかんでえ～♥

さっきみたく萌お姉ちゃんのおっぱいに入れちゃおっか♥

萌 ⇒ はあい♥

お胸の中にい～♥

その分厚いお札をこぼさず入れられますかねえ～♥

はみ出ちゃダメですからねえ～♥

光 ⇒ 萌お姉ちゃんのおっぱい募金箱を僕のお金でいっぱいにしてあげて♥

萌 ⇒ んっ♥んん♥

僕君のぴゅっぴゅっしたーい♥って気持ちが萌のおっぱいにい～♥

いっぱい入ってきますよお～♥

光 ⇒ あはは♥おっぱいからお札はみ出ちゃってるう～♥

はみ出ちゃダメって萌お姉ちゃんが言ってたの聞いてなかったのかな～？

イケナイ子だなあ～♥

萌 ⇒ いいんですよねえ～♥

萌の大きいおっぱいからあふれちゃうくらいぴゅっぴゅっしたいんですよねえ～？

僕君の気持ち、萌にいっぱい伝わりましたよぉ～♥

だからあ～おズボンぬぎぬぎしましょうねえ～♥

光 ⇒ はあい♥ぬぎぬぎしましょうねえ～♥

(少年、二人のなすがままに服を脱がされる)

萌 ⇒ はあい♥

おちんちんちゃんよくきましたねえ♥

今から萌の太ももが食べてあげますねえ♥

光 ⇒ ジャあそのかわいく勃起しちゃったおちんちんをお～♥

光 ⇒ ジャあそのかわいくおっきしちゃったおちんちんをお～♥

萌お姉ちゃんの、おっきくてむっちむっちの太ももの間に入れちゃおっか？

萌 ⇒ はあい♥スカートめくってあげましたけど一分かりますかー？ 萌の太もも♥

ふふ♥おぱんつじゃないですよー♥

その下におちんちんいれるんですよー♥

萌の太ももが僕君のおちんちん食べるの待ってるのですよ♥

早くしてくださーい♥

(光ちゃん、顔を少年の肩から乗り出して少年と萌の結合部をみながら少年にささやく)

光 ⇒ はーやーくー♥そそう♥腰突き出して♥はーいとうちゃーく♥

萌 ⇒ ふふ♥いい顔してますねー僕君♥萌の太もも気持ちいいですかあ～♥

そしたらあ～♥んん♥

おちんちんを太ももで押しつぶすしちゃいまーす♥♥ぎゅううう♥

光 ⇒ そしたらあ～前後に動いてえ～♥

おちんちん太ももでごしごしよっかあ～♥

そそう♥

ごーし♥ごーし♥

うまいぞー♥

ごーし♥ごーし♥

上手だからあ～乳首も弄ってあげるねえ～♥

乳首こーりこーり♥きゅっ♥

ふふふWかわいい♥

萌 ⇒ 我慢した分全部出していいんですよ～♥

はあい♥へーこ♥へーこ♥ぱん♥ぱん♥

萌の太もも気持ちいいですかあ～♥

萌の太ももお～♥やわらかいですか～♥

おちんちん太ももに負けちゃいますねえ～♥

勝てませんね～♥

へーこ♥へーこ♥ぱん♥ぱん♥ふふ♥

かわいいですねえ～♥

光 ⇒ つーん♥つーん♥かりっ♥かりっ♥くーる♥くーる♥ぎゅつ♥ぎゅつ♥

萌 ⇒ へーこ♥へーこ♥ぱん♥ぱん♥すーり♥すーり♥ぱん♥ぱん♥

萌 ⇒ あはは♥すっかりおバカさんの顔してますねえ～♥

いいですよ～♥

なーんにも考えなくていいんですよ～♥

ただお漏らしのことだけ考えればいいんですよ～♥

光 ⇒ 僕君は知らないと思うんだけどお～♥

女の子に乳首いじられちゃう男の子ってえ～♥

女の子から見たらすっごい恥ずかしくてえ～♥

弱くてえ～♥

かっこ悪いんだよお～♥

でもいいよねえ～♥

だって気持ちいいんだもんねえ～♥くーる♥くーる♥つん♥つん♥

萌 ⇒ あとあとお～♥

女の子に負けちゃう男の子ってー♥

すっごい情けなくてえ～♥

女の子からお相手してもらなくなっちゃうんですよ～♥

知ってましたかあ～♥

でもいいですよねえ～♥

萌たちがいますもんねえ～♥

萌たちの言いなりなっちゃう方が気持ちいいですもんね～♥

おちんちん太ももにへこへこするの止まらないんですもんねえ～♥

へーこ♥へーこ♥ぱん♥ぱん♥

光 ⇒ 乳首いじられてえ～♥

お姉ちゃんたちに囁かれていっちゃえ♥

萌 ⇒ おちんちん挟まれてえ♥

腰へこへこさせていっちゃってくださいあい♥

萌 ⇒ 頭、萌たちのことだけにしてくださいあい♥

光 ⇒ お姉ちゃんたちの顔浮かべただけでえ～♥

おちんちんおっきくなっちゃうくらいにつ♥

お姉ちゃんたちのこと考えてー♥

萌 ⇒ 萌たちの姿見ただけで、

お漏らしのことしか考えられないおばかさんになってー♥

光 ⇒ お姉ちゃんのことばっかり考えてー♥

萌 ⇒ おちんちんのことばっかり考えてー♥

光・萌 ⇒ お姉ちゃんのものになってね♥僕君♥

(少年、射精す)

萌 ⇒ あはあ♥どくどく♥ぴゅっ♥ぴゅっ♥ぴゅううう♥ぴゅううう♥

僕君のドロドロねばねばのせーえきがー♥萌の太ももにかかるヌルヌル～♥

そのまま萌にヌリヌリしましょうね～♥

し終わるまで逃がしませんよお～♥

ぎゅうううううううう♥

光 ⇒ 体すっごい震えちゃって～♥

背筋がびくんびくんって仰け反っちゃうねえ～♥

お姉ちゃんたちにしてもらうお射精そんなに気持ちいいのかな～？

ほらーお返事してよー♥つーん♥つん♥

萌 ⇒ ふふ♥ぴくん♥ぴくん♥敏感ですねえ♥

すっかり女の子になっちゃいましたねえ～♥

光 ⇒ でもー♥

お精子ぴゅっぴゅっしてからぎりぎり男の子だね♥

よかったね♥僕君♥

萌 ⇒ 気持ちよかったですかあ～♥

僕君♥でもお～♥

ここで一つお話しなきゃいけないことがあるんですよお～♥ねー？光ちゃん♥

光⇒そうだねえ～♥

僕君さっきお姉ちゃんのお金で募金したよねえ～♥

萌⇒あれえ～なんて言うか知っていますかあ～♥

光⇒分かるかなー？あれはね～借金っていうんだよお～♥

萌⇒人から借りたお金は返さなきゃいけないんですよお～♥

それは分かりますよねー？

ちなみに光ちゃんお財布にはいくらはいってたんですか？

光⇒うーん確か20万はいってたかなあ～♥

僕君はその20万をお姉ちゃんに返さなきゃいけないんだよお～♥

払えるかな～？

萌⇒払えませんよねえ～♥

萌たち分かってましたよお～♥

どうしましょうかねえ～♥

どうしたらいいんでしょうね～♥

ママに言ったら怒られちゃいますね～♥

光⇒ふふ♥そんな泣きそうな顔しないのっ♥

そこでー♥お姉ちゃんにいい考えがあるの♥

お姉ちゃんの言う通りやってくれれば、ママにばれずにお姉ちゃんにお金が返せるよっ♥

萌⇒そうですよお～♥

僕君にぴったりのお仕事萌たち知ってるんですよー♥

それで働いてお金返してくれませんかー♥

光⇒大丈夫♥僕君にもできる簡単なお仕事♥

しかも最初はお姉ちゃんたちが教えてあげるから安心して♥

萌⇒僕君のおこづかいじゃあ、全部返すのに何年かかるかわかりませんよねえ～？

光⇒でもこのお仕事なら僕君が頑張ればすぐに全部返せるよー♥

萌⇒いいお話だと思いませんか～？

光⇒お姉ちゃんたち優しいよねえ～？

萌 ⇒ やってくれますよねえ～？

光・萌 ⇒ ねえ～？

光 ⇒ はあい決まりい～♥

じゃあ日曜日の朝9時にお姉ちゃんと出会った駅前に集合ね♥

遅れちゃダメだよ♥僕君♥

萌 ⇒ 遅れちゃったらあ～♥

おしおきしちゃいますからねえ～♥約束ですよお～♥

光 ⇒ うんうん♥よしよし♥かわいい♥かわいい♥

んじやお姉ちゃんとお買い物しようか♥

萌 ⇒ もしかして忘れてましたかあ～？

光 ⇒ おつかいだよ♪

お・つ・か・い♪

お金はお姉ちゃんが出してあげるから一緒におつかいしよ♥

僕君♥

萌 ⇒ 精子さんふきふきしてえ～♥

おズボンはけたらいきますよ僕君♥

一日ここまで

長らくお待たせして申し訳ありませんでした。募金出します。早くて12月、遅くとも今冬中に出すのでよろしくお願ひいたします。

2章まで区切ったのはネタバレを防止し楽しみにお待ちいただきたいのもありますが、とりわけ3章が脚本を見ただけでは理解しづらい構造になっているお見せしてもあまり意味のないものになってしまっているためもあります。それ以外にもいろんな布石を仕込んであります。既に2章までの時点でもかなりばらまいてあります。楽しみにお待ちいただければ幸いです。

この脚本は2年前にほぼすべて書き上げられており細かい言い回し以外は変わってないです。時間が経った自分の脚本というのは未熟さや後悔が目について往々にして見返したくないものであります。ですがこの脚本は今でも納得のいく出来であり、まぎれもなく今の自分でも出力できるか分からないその当時の自分のベスト以上のものがアウトプットされたものです。だからこそ多少の困難であっても出したいと思った作品であります。

困難というのは薄々分かっている方もいるかと思いますので、白状してしまうと萌ちゃんの声優です。ここで一つ謝らなくてはならないのですが、萌ちゃんの声優は違う方にお願いしてあります。全く同じキャストを期待していた方には残念なお知らせとなってしまい大変申し訳ありません。

ですが、だからと言って生半可なことをするつもりは毛頭ございません。僕は萌ち

やんという人物が本当に好きで、萌ちゃんを書く必要のなくなった今でも萌ちゃんらしい行動やセリフをいつでも出力できるくらいには萌ちゃんが好きです。光ちゃんととの普段のやりとりを妄想し、ふと職場PCのVSCodeでテキストとして書き残しちゃうくらいには好きです。(未希ちゃんでもよくやってしまうのですが...。)とにかく僕自身、萌ちゃんに心を奪われている一人であるという自負があります。納得できない萌ちゃんを出すくらいなら出さない方がましという思いで僕は萌ちゃんを演じてくださる声優さんを探しました。

そしてこの度、そんな私の身勝手で厄介な要求にも関わらず、それを真摯に受け止めていただき、萌ちゃん役を引き受けてくださった方がいます。演技のディレクションをさせていただ上で音声を拝聴いたしましたが、まさしく僕の思う一見無警戒でゆるそう物知らずでちょろそうでありながら、一度足を踏み入れたら最後抜け出しができずドロドロになるまで甘く溶かすそんな蠱惑的な魅力を持つ萌ちゃんそのものでした。なので萌ちゃんと光ちゃんに人生を絞られたいという方はご安心いただければと思います。そして僕はその作品を通して、一作目を買ってくださった方、気に入ってくださった方、感想をくださった方、力を貸してくださった全てに感謝を伝えたく、内容としてもそういう内容、そういうシコリティになってます。のでぜひ楽しみにお待ちいただければと思います。それでは長くなってしまいましたが、次回作、貢ぎマゾ募金Ⅱでお会いできれば幸いです。また逢う日までごきげんよう。
